

# まるい校舎

加古川市立川西小学校

校長室だより 第16号

令和6年1月9日

🌸🌸🌸🌸🌸 3学期がスタートしました 🌸🌸🌸🌸🌸



## 「3、2、1、ジャンプ!」と「感謝・備え」

3学期の始業式で、子どもたちに2つの話をしました。

1つ目は、**3学期を「3、2、1、ジャンプ!」という気持ちをもって過ごしましょう**という話です。

「3学期は、まとめの時期」と言われることがありますが、別の見方をすると「4月から始まる新しい学年に向けての準備の時期」と考えることができます。2学期に、西宮市から来てくださった講師さんに5・6年生が長縄の8の字跳びを指導していただいた際、講師さんが「8の字跳びを連続で成功させるには、自分の番が来た時に跳べばいいのではなく、自分の3人前を見て『3、2、1、ジャンプ!』というタイミングで跳びましょう。」と教えてくださいました。子どもたちの成長も然りで、学校の1年は3月に終わりますが、子どもたちの成長は学年末がゴールではありません。子どもたちが学校の1年を連続で跳び越えていくために、3学期は大切な準備期間です。学校では、子どもたちが4月に向けてのステップを着実に登っていけるように、これまでと同様に指導を進めてまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

2つ目は、「**感謝**」と「**備え**」を大切にしながら**過ごしましょう**という話です。

今年は年始早々に2つの大きなニュースがありました。1月1日の「令和6年能登半島地震」と1月2日の「羽田空港での飛行機事故」です。話を聞いている子どもたちの様子を見ても、ニュースについて知っている子も多いようでした。今、被災地から遠く離れたところにいるみなさんにできることは、被災地ではたくさんの方が大変な思いをされていることを知ったうえで、学校に来て勉強したり遊んだり、家に帰って暖かい部屋でゆっくり休んだりという「あたりまえの生活」ができることに感謝しながら、毎日の生活を送ることですと話しました。また、備えていたから助かった命があることを知らせ、もし身近な場所で災害や事故が起きた時に備えることが大切ですよという話もしました。

能登半島地震の被災地では、被害が大きすぎて3学期の始業式を実施するめどが立たないという学校もあるようです。川西小学校では、今日、予定通り始業式が実施できたことに感謝しつつ、毎日を過ごしていきたいと思えます。



広報かがわ（令和6年1月号）に、加古川市の岡田市長の新春座談会の記事がありました。座談会の中で、市民を対象に実施したアンケートから「加古川市民のウェルビーイング（幸福感）の指標」をまとめたという話題があり、加古川市民の幸福度との関係性が強かったのは、以下の6項目だそうです。

- ①文化・芸術
- ②健康状態
- ③自己効力感、
- ④地域とのつながり
- ⑤公共空間
- ⑥住宅環境

「①文化・芸術、③自己効力感、④地域とのつながり」については、学校での取組からも関わられる部分です。子どもたちが「川西小学校に通っていて良かった。」と感じられるような教育活動に努めていきます。